

## 第103回 薬剤師国家試験問題検討委員会「衛生部会」報告書

日時 平成30年5月12日(土) 13:30～17:30

平成30年5月29日

場所 キャッスルプラザ

出席者

私立大学	56校	92名
国公立大学	17校	21名
計	73校	113名

委員長名	佐藤 雅彦
所属大学名	愛知学院大学

### 1. 総合評価

**出題範囲：** 衛生薬学全体を網羅しており概ね適切であったが、一部に偏りが認められた。

**難易度：** 全体として難易度は中程度で概ね適切であった。また、時事問題や化学構造式、衛生試験法、計算問題、図表の理解を必要とする問題など、全般的に読解力、思考力、応用力を要求する良問が多かった。ただし、理論問題において例年になく「一つを選べ」という問題が多かった。

**複合性：** 学校薬剤師に関する問題も含め、実践問題としての内容は概ね適切であった。また、新しい取り組みとして物理・化学・生物の枠組みとの4連問が出題され、より実務との関連性を意識した出題となっていた。

### 2. 各項目の評価

#### 1)「誤りがあると判断された問題」

##### 理論 問127

誤っている選択肢を2つ選ぶ問題であるが、正答肢が3つあった。厚生労働省の指摘通り「不適切な問題」である。今後は、出題に当たって、問題内容の入念なチェックをしていただきたい。

#### 2)「問題の観点から不適切である問題」

##### 理論 問121

問題文には「20歳の男性の基礎代謝基準値を25.0 kcal/kg 体重とする」とあるが、基礎代謝基準値の単位は「kcal/kg 体重/日」であり、単位表示が誤っている。また、2015年における20歳の男性の基礎代謝基準値は「24.0 kcal/kg 体重/日」であることから、適正な値を用いることが望ましい。

##### 理論 問125

選択肢2（誤文）に記されている「倍化年数」については、「倍化年数」と「倍加年数」の両方の表記が用いられている。ただし、厚生労働省では「倍加年数」で統一表記されているため、表記が適切性に欠けており、国家試験問題でも「倍加年数」とすべきである。また、厚生労働省では、「倍加年数」は老年人口割合（高齢化率）が7→14%（10→20%を利用する場合もある）への増加に要する年数として定義している。この定義に基づくと、出題されている表から、「倍加年数」を求めることはできない。しかも、老年人口割合が7%で高齢化社会、14%で高齢社会、21%以上で超高齢社会と定義されていることから、パーセンテージの数値が単純に倍になるのにかかる年数に対して使用できるのか疑問である。選択肢2は誤文であるが、表記・表現の正確性に欠ける。

#### 3)「複合性が不適切な問題」

特になし

#### 4)「授業で触れていない問題」

別紙1のとおり

## その他特記事項

全体的に、曖昧な表現・表記が散見される。国家試験問題であることから、問題作成(出題)にあたって入念なチェックをしていただきたい。

### 必須 問19

問題文の「予防接種法における定期接種の対象に新たに加えられたウイルスはどれか。」について、「ウイルスはどれか」ではなく「疾患はどれか」が適切であり、表現の正確性に欠ける。

### 理論 問128

選択肢2に記されている「風疹」と、選択肢5に記されている「麻疹」は、非常用漢字の「疹」が表記されている。一般には、「風疹・麻疹」と「風しん・麻しん」の両方が使用されている。ただし、厚生労働省では、「風しん・麻しん」の表記となっている。したがって、「風しん・麻しん」表記が望ましい。非常用漢字の取り扱いについては、注意を払っていただきたい。

### 理論 問129

選択肢3に記されている「抗ウイルス薬ラミブジン」について、治療薬(医薬品名)に関する出題は衛生薬学の範囲を逸脱している。治療薬を出題する場合は、医薬品名を出さなくても(今回の場合、「抗ウイルス薬」のみ)治療意図を汲み取ることができれば回答可能な形式での出題が衛生薬学領域としては適当である。

選択肢5に記されている「HIV感染症」について、全数把握する感染症は、発症前でも感染が判明した時点で届け出が必要なため、「HIV感染症」でも間違いではないが、感染症法に記載されている表記「後天性免疫不全症候群」を用いるべきで、適切性に欠ける。「後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)」表記が望ましい。

### 理論 問130

問題文に記載されている「特化則」は「労働安全衛生法」に基づいているが、「労働安全衛生法」は、薬剤師国家試験出題基準の(3)-③各領域における留意事項【衛生】に記載されている「衛生」から出題される衛生関係法規に含まれていない。したがって、「特化則」は出題範囲を逸脱している可能性がある。しかしながら、労働安全衛生法は出題基準には載っていないが、薬剤師として知識を身につけなければいけないものなので(薬剤師は労働安全衛生法に基づく第1種衛生管理者免許を取得できる)、適切な出題であった。労働安全衛生法についても出題基準に載せていただきたい。

### 理論 問134

問題文の「許容一日摂取量(ADI)」の日本語表記については、多くの教科書には「一日許容摂取量」と表記され、内閣府食品安全委員会では「一日摂取許容量」が用いられ、厚生労働省では出題文と同じ「許容一日摂取量」を使用している。しかし、過去問では違う表記のこともあり、表記が統一されていない。薬剤師国家試験における表記を明確にいただきたい。

### 実践 問237

「疾病予防」に関する選択肢5の「糖尿病の二次予防にあたる」について、「糖尿病の」とあるので「三次予防」にあたるため誤文であると思われるが、リード文によるとまだ糖尿病を発症しておらず「一次予防」とも解釈できる。誤文の選択肢ではあるが、様々な捉え方ができる表現であったことから、明確な表現に努めていただきたい。

## 3. 各問題の評価

別紙1のとおり

別紙1 第103回薬剤師国家試験問題「衛生」部会 評価表

	番号	問題の誤り			問題の適切性			問題・選択肢表現			授業で教えて		
		ある	ない	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	いない	いる	一部 いない
必須問題	16	0	71	0	0	71	0	1	70	0	2	70	1
	17	0	71	0	0	71	0	0	70	1	0	67	4
	18	0	71	0	0	71	0	2	69	0	1	70	0
	19	0	69	0	1	67	1	5	63	1	2	58	9
	20	0	70	0	0	69	1	0	69	1	4	60	6
	21	0	70	0	0	70	0	0	69	1	1	65	4
	22	0	70	1	1	65	5	2	66	3	0	53	18
	23	0	70	0	1	68	1	0	68	2	0	66	4
	24	0	70	0	0	69	1	0	69	1	0	67	3
25	0	70	0	1	69	0	0	70	0	0	69	1	
一般問題 (薬学理論問題)	121	0	70	0	3	67	0	0	69	1	2	65	3
	122	0	71	0	0	69	2	0	70	1	0	59	12
	123	0	71	0	0	71	0	0	70	1	1	68	2
	124	0	71	0	2	69	0	0	70	1	1	47	23
	125	1	67	1	0	68	1	4	65	0	1	67	1
	126	0	69	0	0	68	1	2	67	0	0	66	3
	127	24	32	13	3	59	7	21	38	10	0	59	10
	128	0	69	0	0	69	0	1	67	1	0	64	5
	129	0	69	0	0	69	0	2	65	2	0	59	10
	130	0	69	0	2	57	10	2	65	2	6	35	28
	131	0	66	4	2	65	3	1	66	3	2	60	8
	132	0	69	1	0	67	3	4	63	3	1	60	9
	133	0	69	0	0	67	2	1	67	1	1	58	10
	134	0	71	0	0	70	1	3	67	1	1	70	0
	135	0	70	1	1	68	2	6	64	1	2	52	17
136	0	70	0	0	70	0	2	67	1	0	68	2	
137	0	70	0	0	70	0	1	67	2	1	67	2	
138	0	70	0	0	68	2	2	66	2	1	58	11	
139	0	70	0	1	69	0	0	70	0	0	65	5	
140	0	70	0	1	68	1	0	68	2	1	52	17	

	番号	問題の誤り			問題の適切性			問題・選択肢表現			複合性			授業で教えて		
		ある	ない	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	いない	いる	一部 いない
一般問題 (薬学実践問題)	225	0	68	1	2	58	9	1	65	3	0	63	6	3	33	33
	229	0	71	0	1	70	0	0	71	0	2	67	2	0	62	9
	231	0	70	1	0	69	2	1	70	0	1	68	2	0	68	3
	233	0	69	0	1	68	0	1	68	0	1	66	2	1	54	14
	235	2	67	0	1	68	0	1	66	2	1	67	1	0	62	7
	237	2	67	0	0	69	0	1	68	0	1	68	0	3	64	2
	239	0	69	0	0	69	0	0	68	1	1	67	1	3	61	5
	241	0	70	0	0	67	3	0	70	0	1	65	4	3	58	9
	242	0	70	0	4	64	2	2	68	0	0	68	2	4	56	10
	245	1	69	0	0	65	5	3	60	7	1	66	3	0	55	15

(注)数字は回答大学数である。